



はくい (HAKUI)

平成27年 1月号 (2015)

市議会だより

No.64

設置目的

- ① 市民に市議会の活動状況、情報を提供し、
- ② 市民との意思疎通手段を多重化しながら、
- ③ 市民の要望を市政に反映させるとともに、
- ④ 分権時代に向けた市議会の活性化を図る。

発行者／石川県羽咋市議会

編集者／市議会だより編集委員会

住 所／〒925-8501 石川県羽咋市旭町ア200番地

TEL 0767-22-7160 FAX 0767-22-7210

<http://www.city.hakui.ishikawa.jp>

主な内容

一般質問…………… 2

各委員会報告…………… 7

市民の声…………… 8



迎春

邑知湯の白鳥

平成26年第7回定例会の概要

平成26年第7回羽咋市議会定例会が11月28日から12月15日までの18日間開催された。提出された議案は、平成26年度羽咋市一般会計補正予算案1億4,001万円など議案17件、報告2件、平成25年度各会計決算。

初日の提案理由説明で山辺市長は、急速に進む人口減少に歯止めをかけるため、国の地方創生の動きに呼応し「羽咋版・地方創生プラン」を策定し、若者の定住促進など人口減少対策や地域経済の活性化を重点的に推し進めるための取り組みを説明した。

12月8日の質問日では8人の議員が質問に立

ち、「羽咋版・地方創生プラン」、道の駅構想、空き家対策、イノシシ対策、羽咋駅周辺整備、子育て支援、教育行政などについて質問した。

最終日の採決では、平成26年度一般会計補正予算案など市長提出議案17件、報告2件、平成25年度各会計決算を全会一致または賛成多数で原案通り可決、承認。継続審査も含めた請願9件のうち1件を採択、7件を不採択、1件を継続審査とした。議員提出議案「議決事件に該当しない契約及び財産の処分についての報告に関する条例」、追加の議員提出議案「政府による緊急の過剰米処理を求める意見書」を可決した。



松永 幸則 議員

市民や子どもたちの安全・安心を最優先に



紙の案内や電話連絡に加え
メール配信があればもっと安心

子どもたちの安全安心のためにメール配信を

【質問】 子どもたちを狙う犯罪や、突発的な災害が多発している。子どもたちの安全安心のためにメール配信システム導入の希望を問うたアンケート結果「保護者の民意」は。教育委員会はどのように対応するのか。

【教育長答弁】 「必要である」小学校 74.9%、中学校 72.1%、「必要でない」小学校 4.1%、中学校 6.1%、「どちらでもない」小学校 21.0%、中学校 21.8%である。教育委員会としては、今後も情報提供や支援を積極的に行う。

市民や子どもたちに動物愛護の啓発を

【質問】 全国や市内でも犬や猫などのペットを捨

てる事案が相次いでいる。動物愛護を啓発した写真やポスターなどの掲示を市役所ロビー等で行ったり、学校で子どもたちにも伝えよ。

【総務課長答弁】 動物愛護団体から動物愛護の写真やポスターなどの掲示の要望があれば、できるだけ配慮したい。

【教育長答弁】 生命の尊厳について認識させることは重要。家庭や地域と協力し、動物を愛護する心を育む道德教育を実施する。

その他の質問

- ①市民・子どもたちの安全安心のための I T・I C Tの活用について
- ②出生率向上の要因と「羽咋版・地方創生」について



稲村 信成 議員

『道の駅』千里浜では市民の協力は得られない



千里浜「道の駅」候補地

防災機能の強化を進めるべし！

【質問】 豪雨時に度々冠水する、①余喜保育所近く。②長者川の御坊山近く。③千里浜 IC 近くでは、通学路でもあり市民の不安解消と生活の障害を解消するべく速やかに改修するべき。

【答弁】 対策は急務と認識している。①平成 27 年度に余喜公民館周辺で小河川の改修に着手予定。②県が堤防のかさ上げを約 300 m 実施予定、跨線橋下の冠水対策では、平成 27 年度から排水整備工事に着手予定。③大町～四柳の県道部、千里浜 IC 周辺県道部は、県に早期対策を要請する。

千里浜 IC の道の駅は、将来市民の大負担に！

【質問】 道の駅は全国や北陸でもほとんど赤字。最後は血税の垂れ流し施設になるのではとの反対の声が市民や予定地地主の千里浜町会に多い。何とかなるとの抽象的な説明では無く、具体的な黒字経営策を示して市民や地元の理解を得るべき。

【答弁】 道の駅は交流人口の拡大や地域経済の活性化等の波及効果が図られる施設として整備する。道の駅は運営するトップの資質の問題、そこで売る商品の問題、そして 3 点目は地域で愛される道の駅であること。この 3 点を基本に進めたい。

その他の質問

- ①市組織の部制について



櫻井 英一 議員

地方創生は、知恵・アイデア・実行力が肝心



羽咋市空き家情報バンク

「羽咋版・地方創生プラン」をどのように進める

【質問】 急速に進む人口減少に歯止めをかけるため「羽咋版・地方創生プラン」を策定し、若者の定住促進など人口減少対策や地域経済の活性化を重点的に推し進めるとのことだが、プラン策定の進め方を聞く。

【答弁】 「羽咋版・地方創生プラン」は、地方創生法により策定する総合戦略に基づく地方版総合戦略として定めるものである。今後示される国の総合戦略の内容を見極め、地方創生特区などを検討し、人口目標など実現可能な数値を盛り込んだ「羽咋版・地方創生プラン」を平成27年度中に策定する。

年々増え続け、深刻化する空き家対策

【質問】 年々増え続け、深刻化する空き家。町会

長連合会役員との意見交換会でもこの問題が取り上げられた。まさに喫緊の課題として早急に有効な対策に取り組まなければならない。

【答弁】 国会において、空き家対策特別措置法が可決した。この法案は、市町村に調査権限が付与されるとともに、除却や修繕等の助言や指導・勧告・命令が可能となり、法に基づく空き家対策が可能となる。本市としては、国が定める基本方針に基づき、安全確保に向けて空き家対策を強化していく。また、来年度から空き家リフォーム再生事業として、賃貸利用も含め改修工事への助成を拡充したいと考えている。

その他の質問

①羽咋教育ビジョンについて



寺井 哲也 議員

学校教育の充実と文化芸術の振興に力を！



充実した教育環境を

充実した教育について

【質問】 学力の維持・向上、きめ細やかな指導など保護者の期待に応えるためにも、学校支援員のより一層の配置が必要であるが、市長の考えは。

【答弁】 現在、小中学校に15人の学校支援員を通常学級や特別支援学級に配置しており、児童生徒の生活面や学習面を支援し、授業の円滑化を図っている。近年、支援を要する児童生徒の増加により各学校から学校支援員の増員の要望があり、各学校の状況を把握し適切な配置に努めたい。

文化芸術の振興について

【質問】 文化祭等の内容など新たな企画も必要だと聞かすが、市の文化祭も含め文化芸術の振興につ

いてどのように考えているのか。

【答弁】 文化協会への補助やコスモアイル羽咋の大ホールを使用した団体への補助を行う一方、児童生徒や市民を対象に観劇やオーケストラ鑑賞事業等、文化事業の振興を図っている。伝統文化の継承をはじめ、文化薫る安らぎのあるまちづくりを推進することは大切なことだと考えており、今後も文化事業を支援するとともに、芸術文化振興助成事業制度を積極的に行い、市民の皆様に質の高い文化事業の提供に努めたい。

その他の質問

①安心できる医療について

②イノシシ捕獲対応と、その後の活用について



浜名 等 議員

冬季における市道の安全対策を充実せよ！



公立羽咋病院に乗り入れする市道に融雪装置の設置を

公立羽咋病院周辺の市道に融雪装置の設置を！

【質問】 この冬、公立羽咋病院の駐車場には、融雪装置が設置され、利用者の利便性を高めている。しかし、病院に乗り入れする市道2路線には融雪装置が無い。一刻を争う緊急患者や多くの病院利用者のためにも、融雪装置が必要ではないか。

【答弁】 整備には、多額の費用がかかり、現時点では難しい。国県道の既設融雪装置からの取水の可能性を調査するなどして、融雪装置の設置手法を検討していく。両路線とも羽咋病院に連絡する重要な路線であり、除雪実施時には重点路線として、優先的に通行の確保を行う。

羽咋川右岸の堤防整備の進捗状況は？

【質問】 市内の多くの河川では、集中豪雨などにより、土砂の堆積が多く見られる。この堆積土砂を利用し、羽咋川右岸の堤防の築堤を行うことはできないか、また、県に要望している堤防整備の進捗状況は。

【答弁】 これまで繰り返し県に堤防整備の要望を行い、早期実現に向けて、手法を検討している。堤防盛り土は、かさ上げにより周辺に悪影響がないか確認した上で、羽咋川の堆積土砂に限らず、他の河川の堆積土砂の利用についても検討していくと聞いている。今後も引き続き強く要望していく予定。



北川 真知子 議員

子ども医療費窓口無料化の実施を！



羽咋小学校

子ども医療費窓口無料化を

【質問】 9月の県議会で知事は、子どもの医療費の現物給付方式への転換を求めた質問に対して、市町の意向に沿って対応すると答弁している。輪島市は11月から窓口無料化を実施し、宝達志水町や他の自治体でも検討を表明している。羽咋市でも子どもの医療費窓口無料化の実施を求める。

【答弁】 窓口無料化を実施した場合、医療費の増大や国保会計への国庫負担金が減額される。早急な実施は困難であるが、県内市町の導入状況を考慮しながら検討する。

道の駅構想に疑問の声あり

【質問】 「道の駅」構想に市民から疑問の声が多

数寄せられている。「道の駅」設置の予算と、その財源をどこに求めるのか。また「道の駅」は何を目玉商品として考えているのか。

【答弁】 「道の駅」の予算は平成27年度に設計費、平成28年度に建設費を予定しており、事業費は基本計画の中で算出していく。財源は、国土交通省や農林水産省からの補助金や過疎債を活用していく。「道の駅」の販売媒体を活用し、6次産業化の推進を図っていく考えであり、本市がJAはくいと共同で進めている自然栽培による農産物の販売や加工品の開発、飲食の提供に力を注いでいく。

その他の質問

- ①米価暴落について
- ②福祉灯油について



大塚 幸男 議員

地方創生は浮上のラストチャンス！



整備開始の滝町休耕田

地方創生と人口減少対策

【質問】 消滅自治体にならないためにも、地方版総合戦略の策定を急ぎ、他に先がけて行動せよ。早い対応はそれに相応しい措置があり、総力で取り組むべき。道の駅構想は地元理解が最優先であり、今後の対応と国交省のモデル事業に選定される可能性は。人口減少が加速する中、移住の促進は重要課題に浮上し、移住者の獲得競争が激しくなるが、有効な手段である空き家バンク制度の魅力的な制度改革を求める。

【答弁】 モデル認定事業の趣旨に沿っており、スピード感を持って対応し国の支援を求める。移住相談窓口の一本化や改修費の助成など、空き家バンク制度の充実を図る。

コメ農家の支援と耕作放棄地の活用

【質問】 米価の下落や収穫量の減、1等米比率の低下もあり、農家は2重3重の痛手を被っている。各J Aの助成や国の制度により一定の補填があるようだが、来年の行政対応は。耕作放棄地について、かほくや内浦地区などで農業法人が進出している。耕作放棄地の現状把握を急ぎ、支援機構への情報提供や農業法人誘致に積極的に対応せよ。

【答弁】 コメの消費減少と過剰米で、来年も厳しい状況にあるが、市独自支援は検討課題であり、国の動向に注視したい。県や支援機構と連携し、新規就農法人等の誘致活動を実施している。

その他の質問

- ①全国学力テストの学校別成績公表のあり方
- ②中学校の学校選択制の導入



浅野 俊二 議員

太陽光発電を積極的に推進せよ！



太陽光パネル

電気の地産地消を

【質問】 衆院選挙で立候補した全候補者のアンケート結果は、原発ゼロあるいは縮小、再生可能エネルギー（風力、太陽光、地熱など）を増やすが9割賛成で、国民の6割以上も同様だ。そこで羽咋市も太陽光発電（ソーラー）の推進についても民間まかせでなく積極的に対応すべきだ。市の所有する庁舎、学校、保育所や遊休地にソーラー施設を設置せよ。例えば庁舎の屋上で、市が直接できなければ民間に。市庁舎は災害対策本部であり自前の電源が必要である。民間導入の場合は入札方式で。遊休農地や山林でのソーラーの活用をせよ。山林や雑種地は当然だが、農地の白地についても、高齢化が進んで遊休地化しており、地

権者にとっても収入（千坪で年30数万円）がある。市にとっても20年で1メガ2,000万円の税収になりウィン・ウィンの関係になる。農業委員会は主体性をもって、地域の発展のため県に働きかけをせよ。

【答弁】 大規模災害に備え、市有地に再生可能エネルギーの補助事業を申請している。遊休地での民間活力の導入は今後検討する。放棄地や遊休農地については、農地中間管理機構への貸付を図っていく。農地の地目変更については第1種は困難であるが、第2種第3種は要件が整えば許可の範囲となる。地目変更の場合、申請者から地番・面積・転用目的等を聞きとり、県との事前協議を行い判定している。

平成26年 第7回定例会 12月議会

◇平成26年度一般会計補正予算をはじめ全議案を可決

平成26年度一般会計補正予算(第7号)、羽咋市部設置条例の制定、千里浜宿泊施設の指定管理者の指定など市長提出議案17件、報告2件を可決・承認。請願については、7件を不採択、継続審査中の請願1件を採択、残りの1件を継続審査とした。議員提出議案では「議決事件に該当しない契約及び財産の処分についての報告に関する条例の制定について」、「政府による緊急の過剰米処理を求める意見書」の2件について可決。継続審査中の市長提出認定第1号から第7号については、全て認定。

議決番号	議案番号	件名	議決年月日	結果
議決第63号	議員提出議案第8号	議決事件に該当しない契約及び財産の分についての報告に関する条例の制定について	H26.11.28	原案可決
議決第64号	市長提出議案第42号	平成26年度羽咋市一般会計補正予算(第7号)	H26.12.15	原案可決
議決第65号	市長提出議案第49号	羽咋市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	H26.12.15	原案可決
議決第66号	市長提出議案第51号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	H26.12.15	原案可決
議決第67号	市長提出議案第43号	平成26年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	H26.12.15	原案可決
議決第68号	市長提出議案第44号	平成26年度羽咋市介護保険特別会計補正予算(第2号)	H26.12.15	原案可決
議決第69号	市長提出議案第45号	平成26年度羽咋市水道事業会計補正予算(第1号)	H26.12.15	原案可決
議決第70号	市長提出議案第46号	平成26年度羽咋市下水道事業会計補正予算(第1号)	H26.12.15	原案可決
議決第71号	市長提出議案第47号	羽咋市部設置条例の制定について	H26.12.15	原案可決
議決第72号	市長提出議案第48号	羽咋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	H26.12.15	原案可決
議決第73号	市長提出議案第50号	羽咋市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	H26.12.15	原案可決
議決第74号	市長提出議案第52号	羽咋市国民健康保険条例の一部改正について	H26.12.15	原案可決
議決第75号	市長提出議案第53号	羽咋市営住宅条例の一部改正について	H26.12.15	原案可決
議決第76号	市長提出議案第54号	千里浜宿泊施設の指定管理者の指定について	H26.12.15	原案可決
議決第77号	市長提出議案第55号	「工事請負契約の締結について」の一部変更について	H26.12.15	原案可決
議決第78号	市長提出議案第56号	市道路線の廃止及び認定について	H26.12.15	原案可決
議決第79号	市長提出議案第57号	行政区域を越える志賀町道の認定に係る承諾について	H26.12.15	原案可決
議決第80号	市長提出議案第58号	財産の取得について	H26.12.15	原案可決
議決第81号	市長報告第17号	平成26年度羽咋市一般会計補正予算(第5号)の専決処分の報告について	H26.12.15	原案承認
議決第82号	市長報告第18号	平成26年度羽咋市一般会計補正予算(第6号)の専決処分の報告について	H26.12.15	原案承認
	請願第11号	集团的自衛権行使を容認する解釈変更の閣議決定を再考し、国民的議論と慎重審議を求める請願	H26.12.15	不採択
	請願第12号	「消費税10%増税を中止する意見書」採択を求める請願	H26.12.15	不採択
	請願第13号	「集团的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し、閣議決定に基づく立法化を行わないことを求める意見書」採択を求める請願	H26.12.15	不採択
	請願第14号	「集团的自衛権行使を容認する閣議決定撤回を求める意見書」採択を求める請願	H26.12.15	不採択
	請願第15号	「日米軍事協力の指針(ガイドライン)再改定作業の即時中止を求める意見書」の採択を求める請願	H26.12.15	不採択
	請願第16号	「慰安婦」問題の早期解決を求める意見書」採択を求める請願	H26.12.15	不採択
	請願第17号	「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」の採択を求める請願	H26.12.15	不採択
	継続審査請願第9号	農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する意見書提出を求める請願	H26.12.15	継続審査
	継続審査請願第10号	政府による緊急の過剰米処理を求める意見書提出に関する請願	H26.12.15	採択
議決第83号	継続審査認定第1号	平成25年度羽咋市一般会計歳入歳出決算の認定について	H26.12.15	認定
議決第84号	継続審査認定第2号	平成25年度羽咋市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	H26.12.15	認定
議決第85号	継続審査認定第3号	平成25年度羽咋市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	H26.12.15	認定
議決第86号	継続審査認定第4号	平成25年度羽咋市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	H26.12.15	認定
議決第87号	継続審査認定第5号	平成25年度羽咋市千里浜財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	H26.12.15	認定
議決第88号	継続審査認定第6号	平成25年度羽咋市水道事業会計決算の認定について	H26.12.15	認定
議決第89号	継続審査認定第7号	平成25年度羽咋市下水道事業会計決算の認定について	H26.12.15	認定
議決第90号	議員提出議案第9号	政府による緊急の過剰米処理を求める意見書の提出について	H26.12.15	原案可決

総務文教常任委員会報告

◎塩谷 久司 ○寺井 哲也 浜名 等 新田 義昭
高田 甚哉 山本 泰夫 浅野 俊二

当委員会で付託された案件は、議案第42号「平成26年度羽昨市一般会計補正予算第7号」中、当委員会所管分など議案4件、報告2件、請願7件。慎重に審議を行った結果、全会一致を持って原案のとおり可決した。

請願7件については、賛成少数につき不採択とした。審査の過程での主な質疑・要望は以下のとおり。

【質問】部設置条例の制定について、3つの部を設けるとのことだが、議会常任委員会の所管関係の改正が必要になってくる。市の執行部だけでなく、議会、教育委員会も含め、同時に検討し進めるべきである。

【答弁】部の設置については、近年、各課で対応できない課題が多く出てきており、一歩進めて組織を強化し、活性化していくためである。今議会で、この条例制定が議決できれば、3月定例会までに付随した関係条例と答弁の問題等も含め、議会の意見を聞きながらよい体制づくりを進めていきたい。

【質問】余喜小学校管理棟改築工事の請負契約の変更について、余喜小学校付近は地下水が出る場所であり、当初の設計段階

でなぜ分からなかったのか。

【答弁】どれ位の地下水が出るのか、また範囲がどれ位かで、水を抜く工法が違ってくる。一般的なウエルポイント工法にすると設計段階で高額になるため、現地で実際に掘削し、現場に合った工法を選択する予定であったためである。今回、県の工事例も参考に、地盤改良によって地下水をおさえる工法を選定したものである。

【質問】余喜小学校整備事業の解体工事工損調査費について、詳しく説明してほしい。

【答弁】工損調査は工事を施工する際、周辺の住宅に被害が及んでいないかを確認するため、工事前と工事後に調査を行うものである。今回の工損調査費は、余喜小学校の新管理棟の完成後、既存の管理棟を取り壊す前の事前調査を行うためのものであり、対象となる住宅は、木造が4棟、非木造が1棟である。

付託案件以外のその他として、邑知公民館のあり方について、瑞穂小学校のスクールバスの運行などについて質問があった。

産業厚生常任委員会報告

◎大塚 幸男 ○松永 幸則 北川 真知子 櫻井 英一
稲村 信成 中村 重幸 中村 孝清

当委員会で付託された案件は、議案第42号「平成26年度羽昨市一般会計補正予算第7号」中、当委員会所管分など議案14件、報告1件、請願2件。慎重に審査を行った結果、議案第49号「羽昨市家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について」は、賛成多数により原案のとおり可決。残りの議案13件及び報告1件については、いずれも全会一致で、原案のとおり可決・承認した。継続審査中の請願第9号「農業委員会、企業の農地所有、農協改革など『農業改革』に関する意見書提出を求める請願」については、農業改革の具体的な内容等をさらに調査する必要があるとの意見から、再度、継続審査とした。同じく継続審査中の請願第10号「政府による緊急の過剰米処理を求める意見書提出に関する請願」については、賛成多数により採択した。審査過程での主な質疑・要望は以下のとおり。

【質問】豪雨災害に伴う道路復旧工事は、どの程度完了したのか。上中山町地内で全面通行止めとなっているが、片側通行だけでも可能とならないのか。

【答弁】小中規模の復旧工事は、件数にして約9割が完了して

いる。上中山町地内の復旧工事については、工事の発注はしているが、土砂崩落の危険性があるため現在も通行止めとしている。可能と判断できれば片側通行を実施したい。

【質問】子ども・子育て支援法制定に伴う関連条例の制定は、目的や理由、本市への影響と効果をどのように考えているのか。

【答弁】法律の主な目的は、都市部における待機児童の解消であるが、今後の出生数の状況変化や施設の定員数の変更等への対応のため、家庭的保育事業等に参入する事業者への対応等のため条例を制定しておくものである。将来にわたり多種多様な子育て支援制度を整備しておく必要がある。

【質問】ちりはまホテルゆ華の指定管理者に、現在の株式会社エムアンドエムサービスを指定することであるが、申込みのあった他社と比較し、どの点が評価され、選定されたのか。

【答弁】市への納付金について、同社は最低保証額500万円であったのに対し、次点の業者は360万円であった。また、施設の設備投資について、新たな投資の提案があったのは、同社のみであった。これらの点が他社と比較し、評価された。

決算特別委員会

◎山本 泰夫 ○寺井 哲也 北川 真知子
浜名 等 櫻井 英一 松永 幸則

当委員会で付託された案件は、平成25年度羽昨市一般会計歳入歳出決算をはじめ、4つの特別会計歳入歳出決算並びに2つの企業会計決算。これらの案件について、9月12日を初日とし、計3回にわたり委員会を開催し、説明を聴取し慎重に審査を行った結果、認定7件全てについては、いずれも全会一致を持って原案のとおり認定した。

審査過程での主な質疑・要望は以下のとおり。

【質問】固定資産税賦課事業の標準宅地鑑定評価委託について、宅地の評価は下がってきていると思うが、現在の状況は。

【答弁】現在、全体的に評価は下がっているが、駅東地区で一部横ばいの所もある。また、評価替えに伴う来年度の固定資産税は、3%から5%程度の減額になる見込みである。

【質問】消費者保護対策事業について、相談が多い内容と、どのような啓蒙活動を行っているのか。

【答弁】平成25年度は55件の相談があり、内容は架空請求、送り付け商法、ネットトラブル、電話での勧誘関係が多い。ま

た、啓蒙活動については、講師による研修を、年2回開催し、瑞穂小学校では、PTAや子どもを対象にしたネット関係の研修、食の安全講習を行った。

【質問】上下水道施設の老朽化に係る施設更新計画と償還計画の今後の見通しについて。

【答弁】上下水道の管渠更新については、下水道事業と併せて実施してきた。区域としての老朽管対策はあと約3年で終了する予定。南部配水機場では耐震対策を備えた施設に更新。

また、下水道事業は、まだ大きな償還金を抱えているが、毎年約7億円の償還により、ここ数年で経営収益的に均衡がとれる。

その他の主な意見としては、子ども医療費助成事業、DV対策事業、介護サービス給付事業、市ホームページのサービス内容の充実などについて質問があった。

●●● 市民の声 ●●●

政務活動費の用途公開を！

H.Y (大川町・60歳代・男性)

兵庫県議による政務活動費の収支報告書虚偽記載事件により、私たちの政務活動費に対する関心が高まりました。高知県では、この事件をきっかけに、来年7月から県議の政務活動費の領収書や収支報告書などネット公開することを決めたとのこと。羽咋市議会も、いち早く政務活動費をネットで公開すれば、市議会への市民の評価は高まるのではないのでしょうか。

公開されれば、用途の適正を市民が確認できるし、議員各位の政務活動の一端もかいま見ることができます。議員の政務活動を知ることができれば、選挙時の投票の判断材料にもなると思います。

個々の議員の活動が知りたい

R.N (千里浜町・60歳代・女性)

毎回、議会だよりを興味深く読ませてもらっています。議員全体の活動はよく分かるのですが、一人ひとりの議員さんの活動が見えてきません。選挙の時の公約、1年に1度は個々の活動報告を議会だよりに載せていただくと、市民の代表としての議員さんの活動がより市民に伝わり、また充実した議会だよりになるのではないかと思います。

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

議会だより編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。議会に対しての感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。

〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定例会は3月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信(生中継)しています。また、

録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ左欄の「議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

会議録、閲覧できます

市議会だよりに掲載されている質疑・質問は、議会で発言された内容の一部です。定例会の内容は、会議録にすべて記載されています。詳しくは、図書館、議会事務局、公民館で会議録をご覧ください。市のホームページにも掲載しています。

なお、平成26年12月議会の会議録は、3月上旬に閲覧できる予定です。

編集後記

本年春、いよいよ私たちの夢と希望を乗せた、北陸新幹線が3月14日よりスタートします。東京と金沢を2時間28分で結ぶ金沢開業は、石川県全域はもとより本市にとっても大きな経済波及効果が期待される所です。

国では、昨年11月21日に地方創生関連2法案が成立し、地方創生へ向けた、大きな第一歩を踏み出すことになりました。本市においても、私たちの地域の特性を生かした様々な取り組みを考え、自らが責任を持って実行することにより、生き残りを賭けなければなりません。私たち議員全員は、市民の皆様の声を大切に、知恵を出し合い、次世代を担う若者たちや子供たちのために、羽咋市創生へ向け真っすぐ進んでまいります。

本年も、市民の皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。(浜名 等)

議会だより編集委員会
(☎0767-22-7160)

委員長	寺井 哲也
副委員長	松永 幸則
委員	櫻井 英一
	浜名 等
	北川真知子